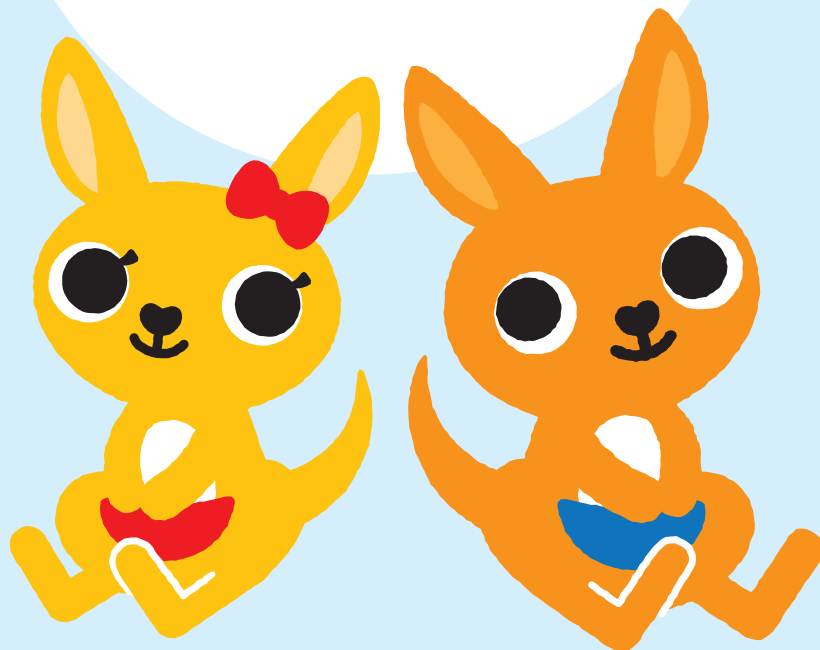


# 2019 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日



ゆめちゃん

かんぼ生命  
企業キャラクター  
かんぼくん

人生は、夢だらけ。



かんぼ生命

証券コード：7181

## 目次

---

- P1 TOP MESSAGE
- P3 かんぼ生命の目指す姿と主要戦略
- P5 商品紹介・新商品
- P7 持続可能な社会の実現に向けて
- P9 健やかで豊かな人生づくりのサポート
- P11 財務ハイライト
- P13 INFORMATION



取締役兼代表執行役社長

植平 光彦

株主の皆さまには、平素より、株式会社かんぽ生命保険に格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は、経営理念である「いつでもそばにいる。どこにいても支える。すべての人生を、守り続けたい。」の実現に向けて、「お客さま本位の業務運営の徹底」、「持続的な成長の実現」、「事業経営における健全性の確保」を経営の基本的な考え方に据えた、中期経営計画を2018年5月に公表しました。2019年度は、販売面における保有契約の反転・成長と低金利環境下における資産運用面での収益

向上を目指し、次の主要戦略に取り組んでまいります。

#### □ 営業・商品戦略

- ・保障重視の販売を強化し、募集品質の向上に向けた総合対策を実施することにより、郵便局・かんぽ生命の営業スタイルの大転換を成し遂げ、成長していくことを目指してまいります。
- ・本年4月には、引受基準を緩和した商品や医療技術の進歩に伴う先進医療に要する費用の負担に備えるための特約の販売を開始しました。

- ・今後も、第三分野をはじめとした保障性商品の開発に取り組む等、お客さまの多様なニーズに適切に対応してまいります。

#### □ 事務サービス戦略

- ・ICT（情報通信技術）活用の他、お客さま接点のマルチアクセス化により、お客さまへのより質の高いサービスの提供に努めてまいります。
- ・具体的には、お客さまの請求書記載に係るご負担を軽減できるよう「保険手続きサポートシステム」の機能の改善を行うとともに、インターネット上で住所変更等のお手続きが行える、お客さま向けWEBサービス（マイページ）を開設する等、お客さまの利便性の向上を図ります。

#### □ 資産運用戦略

- ・ALMを基本としつつ、中長期的な収益向上を目指し、リスク管理の高度化によるリスクの適切な管理のもと、資産運用の多様化を推進してまいります。

#### □ その他の主な取り組み

- ・SDGs（持続可能な開発目標）の各目標と連動したCSR活動を積極的に推進し、健康促進、環境保護、地域と社会の発展に貢献してまいります。
- ・特に、昨年、制定90周年を迎えたラジ体操の普及に加え、本年1月より健康応援アプリ「すこやかんぽ」の提供を開始するなど、お客さまのQOL（生活の質）の向上に取り組めます。

また、株主の皆さまへの利益還元機会を充実させるため、2020年3月期から中間配当・期末配当の年2回の剰余金の配当を実施することといたしました。

これらの戦略・取り組みを社員一丸となって着実に推進することにより、お客さまから選ばれる真に日本一の保険会社を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私たちかんぽ生命は、お客さまによりそい、一人ひとりの人生を守り続けていくために、全社員一丸となって、経営理念の実現を目指してまいります。

そして、お客さまから信頼され、愛される会社であり続けられるよう、お客さま本位の業務運営を徹底し、持続的な成長と事業経営における健全性の確保を通じた企業価値の向上に取り組んでまいります。

## 経営理念

いつでもそばにいる。どこにいても支える。  
すべての人生を、守り続けたい。

かんぽ生命保険は、  
お客さまから選ばれる真に日本一の保険会社を目指します。

### 経営の基本的な考え方

- お客さま本位の業務運営の徹底
- 持続的な成長の実現
- 事業経営における健全性の確保

### 【主な取り組み】

#### 保障重視の販売の強化、募集品質の向上、新たな顧客層の開拓、新商品開発、営業基盤の整備

##### 保障重視の販売の強化

- 郵便局の渉外社員・窓口社員の育成
- 第三分野商品等の販売拡充

##### 募集品質の向上

- 募集資料の分かりやすさの徹底
- 募集品質向上の総合的な対策（契約維持の評価の導入等）

##### 新たな顧客層の開拓

- 未加入者・青壮年層の開拓、職域営業等の強化

##### 新商品開発

- 第三分野など新商品開発による保障性商品の多様化

##### 営業基盤の整備

- 新営業用携帯端末の導入、システムを活用した窓口支援

#### ICT活用によるサービス向上、事務の効率化

##### お客さまサービスの向上

- 画面告知・自動査定システム、保険手続きサポートシステムの導入
- マイページ等デジタル技術を活用した請求手続きの導入

##### バックオフィス事務の効率化

- サービスセンターにおける帳票の電子化、保全事務のデジタル化
- RPA\*の段階的導入

※ Robotic Process Automationの略語で、ロボットによる業務の自動化のことです。

#### 資産運用の多様化、リスク管理の高度化

##### 資産運用の多様化

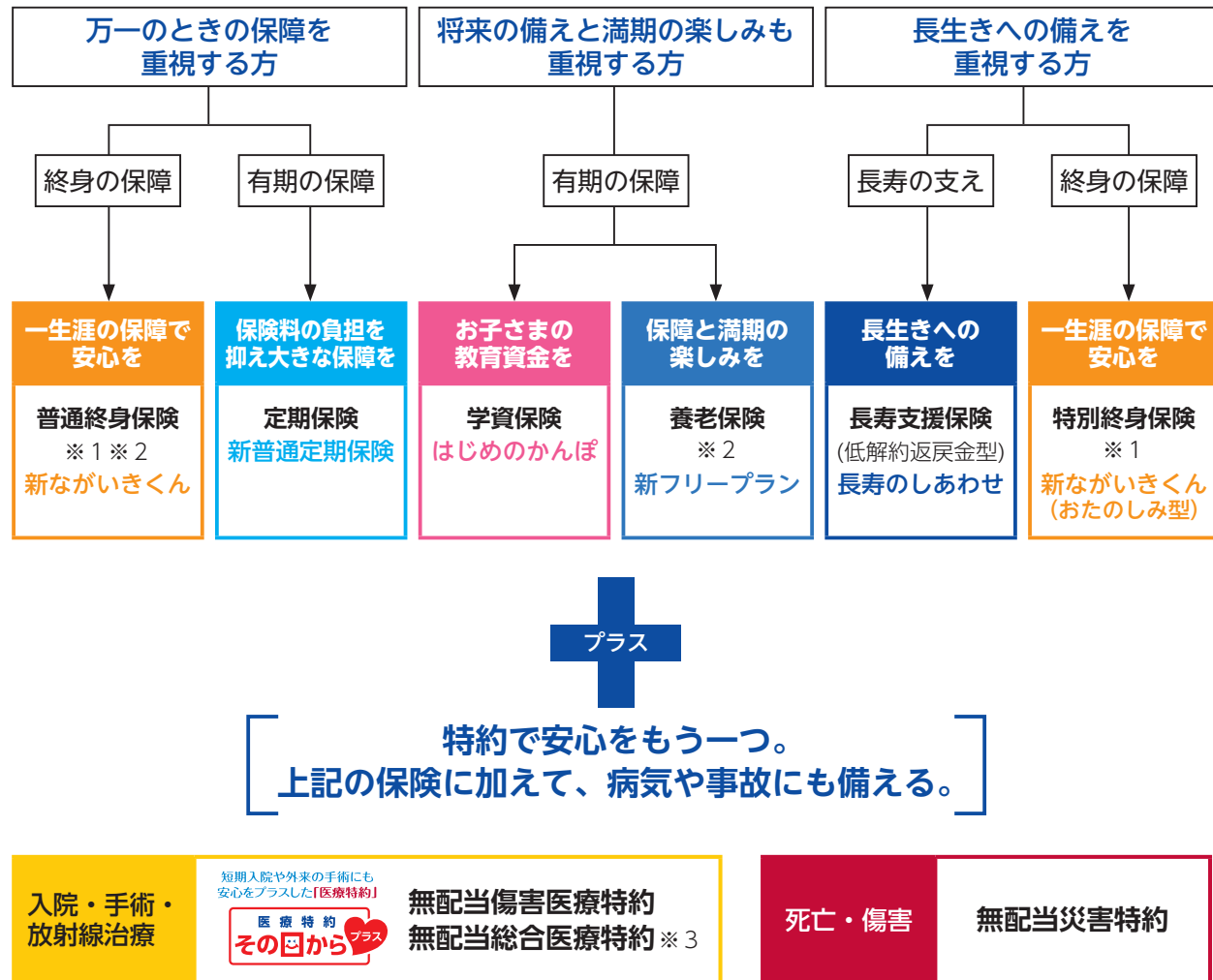
- 外債運用・オルタナティブ運用の多様化、株式自家運用の拡大
- 他生保との共同投資等の協力の推進

##### リスク管理の高度化

- お客さまニーズと収益性を両立する商品により、積極的に保険引受リスクをテイク
- ALM\*を基本としつつ、リスク選好方針に基づき、リスクバッファの範囲で資産運用リスクをテイク

※ Asset Liability Managementの略語で、資産負債の総合管理のことです。

かんぽ生命の保険商品ラインナップ



※1 低解約返戻金型も選択できます。  
 ※2 引受基準を緩和した引受基準緩和型商品の取り扱いもあります。  
 ※3 無配当総合医療特約を付加した場合は、先進医療特約を付加することもできます（長寿支援保険、引受基準緩和型商品を除く）。

2019年4月に販売を開始した新商品

当社は社会環境や経済環境等の変化とお客さまニーズの変化を踏まえ、各種の商品開発に取り組んできております。

近年の高齢化の進展に伴い健康に不安をお持ちの方の増加などの環境変化を踏まえ、保険加入意向はあるものの保険に加入いただけなかった方への保障の提供と、医療の進歩に伴う先進医療に対するお客さまニーズを踏まえ、医療保障の更なる充実を目的として、2019年4月1日（月）より、次の新商品の販売を開始しました。

① 健康に不安のある方向けの“引受基準緩和型商品（かんぽにおまかせ）”の販売開始

持病・既往症があり健康に不安をお持ちの方の、保険に加入したいというニーズにお応えするため、引受基準を緩和し、3つの告知事項に当てはまらなければお申し込みいただける終身保険・養老保険・総合医療特約の販売を開始しました。



② 医療保障の更なる充実に向けた“先進医療特約”の販売開始

医療技術の進歩に伴い治療の選択肢の幅が拡大する中で、経済的負担が大きくなることもある先進医療の技術料と同額を保障する無配当先進医療特約（無解約返戻金型）の販売を開始しました。

先進医療特約



SDGs課題への積極的な挑戦

当社は、事業を通じて社会的要請に応えていくため、世界の共通言語となっているSDGs\*の理念と達成に向けた取り組みの重要性を認識し、日本郵政グループCSR基本方針に基づき、当社として取り組むべき重点項目（マテリアリティ）を特定しました。

公共性の高い生命保険事業を営む企業として、人々が安心して生活できることで、社会とのかかわりを持ち、持続可能な社会の実現に貢献するため、CSR活動の推進に取り組んでいます。

かんぽサステナビリティ経営

当社事業戦略としてのガバナンスを強化し、社会責任や環境などのSDGs課題に積極的に挑戦することで、当社の経済的価値及び社会的価値の創造を両立する経営を実践。

<かんぽサステナビリティ経営のイメージ図>

人々が安心して生活できることで、社会とのかかわりを持ち、持続可能な社会を実現

死亡・病気・事故・災害・長寿等による経済的リスクに対する保障

安心とともに健やかで豊かな人生をサポート

全国津々浦々の郵便局ネットワーク

かんぽ生命

当社の経済的価値と社会的価値の創造を両立

リスクを保障

- 保険商品
- 事務サービス等

リスクを予防

- 健康増進
- 環境保全等

人生をより豊かに

- 社会文化活動
- プラチナライフ等

ESG投資

ERM

デジタルテクノロジー

ダイバーシティ、働き方改革、人材育成

コーポレートガバナンス

かんぽサステナビリティ経営を支える態勢基盤

高齢社会

ライフスタイルの多様化

超低金利環境

人口減少

環境問題

医療技術・ICTの進化

かんぽサステナビリティ経営重点項目

目指す姿

関係する主なSDGs

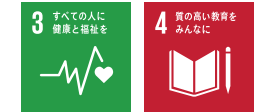
郵便局ネットワーク等を通じた基礎的保険サービスの提供

全国津々浦々に安心をお届けし、これからの地域社会を支える



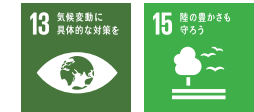
健康増進等を通じたリスク予防

健やかで豊かな人生づくりのサポート



気候変動への適応と環境保護

次世代へ住みよい地球環境資源を



ダイバーシティの推進、働き方改革、人材育成

多様性ある、いきいきとした組織



コーポレートガバナンス

持続的な価値創出の経営基盤



\* SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に「貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を追求する」ことを掲げて国連総会で採択された世界共通の目標です。2030年までに地球規模の課題を解決するべく、17の目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットが示されています。

## ラジオ体操の普及推進

ラジオ体操は、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にできる体操として、多くの方に親しまれています。

当社は、これからも地域の皆さまの健康づくりにお役立ていただけるよう、NHK及びNPO法人全国ラジオ体操連盟と共同でラジオ体操の普及推進に努めてまいります。

### ■ 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

ラジオ体操最大のイベントとして、テレビやラジオを通じて1000万人にも及ぶ人々に一斉にラジオ体操を行っていただくという趣旨で、「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を毎年1会場で開催しています。



岡山県倉敷市 (2018年8月5日)

### ■ 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会／特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

毎年7月20日から8月31日までの43日間、全国43会場で「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催しています。夏休み期間中にラジオ体操をする風景は、日本の夏の風物詩として浸透しています。

また、毎年4月から10月末の日曜日や祝日を中心に、特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会を全国10会場程度で開催しています。

### ■ 全国小学校ラジオ体操コンクール

多くの小学生の皆さまに、元気にラジオ体操をしていただく機会を増やし、健康増進と児童の育成にお役立ていただくことを目的として「全国小学校ラジオ体操コンクール」を開催しています。



## 健康応援アプリを活用したサービスの提供

生命保険事業に求められる役割は、病気・ケガになった際の保障を提供するという従来型サービスの提供から、病気・ケガの予防又は健康を維持・増進させるサービスの提供へと変化しています。当社としても、こうした役割を担うため、健やかで豊かな人生づくりの支援に積極的に取り組んでいく方針です。

その支援策の一つとして、手軽に健康づくりに取り組める健康応援アプリ「すこやかんぽ」を以下の2メニューで展開し、対象者に無料で提供しております。

誰でもご利用いただける

スタンダードメニュー

保険契約者さま等を対象とした

プレミアムメニュー



## かんぽプラチナライフサービスの推進

すべてのお客さまとの接点をご高齢のお客さまの目線で業務改革し、安心感、信頼感のある「ご高齢のお客さまに優しい」サービスを提供することで、今後拡大する高齢のお客さま層において、真にお客さまから選ばれるよう、全社横断的な取り組みとして「かんぽプラチナライフサービス」を推進しています。

< 取り組み一例 >



ご高齢のお客さま専用  
コールセンターの設置



ご高齢のお客さま向け  
情報誌の発行



動画で学ぶ介助の技術



教えて! からだナビ!



社員による資格取得の推進  
(サービス介助士)

2018年度 決算の総括

○ 連結損益の状況

経常収益は、保険料等収入 3兆9,599億円（前年度比6.5%減）、資産運用収益 1兆2,044億円（同6.2%減）、その他経常収益 2兆7,522億円（同13.2%増）を合計した結果、7兆9,166億円（同0.5%減）となりました。

経常費用は、保険金等支払金 6兆8,688億円（同0.3%減）、資産運用費用 1,460億円（同37.6%増）、事業費 5,198億円（同2.6%減）、その他経常費用 1,170億円（同2.5%増）等を合計した結果、7兆6,517億円（同0.1%増）となりました。

この結果、経常利益は2,648億円（同14.3%減）となり、経常利益に特別損益を加減し、契約者配当準備金繰入額及び法人税等合計を差し引いた親会社株主に帰属する当期純利益は1,204億円（同15.3%増）となりました。

○ 契約高の状況

新契約高は、年換算保険料ベースで、個人保険が3,513億円（前年度比6.6%減）、第三分野が616億円（同4.1%増）となりました。

保有契約高は、年換算保険料ベースで、個人保険が4兆6,771億円（前年度末比3.8%減）（受再している簡易生命保険契約（保険）を含む）、第三分野が7,531億円（同0.3%増）（受再している簡易生命保険契約を含む）となりました。

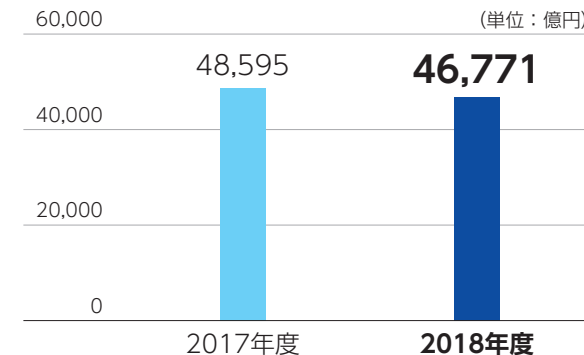
(単位：億円)

	2017年度	2018年度	増減
当期純利益 <sup>※1</sup>	1,044	1,204	159
純資産	20,031	21,351	1,320
総資産	768,312	739,050	△29,262
連結ソルベンシー・マージン比率 (%)	1,131.8	1,189.8	58.0
自己資本利益率 (%)	5.4	5.8	0.4
株主資本利益率 (%)	6.7	7.4	0.7
株主配当	408	432	24
配当性向 (%) (総還元性向 (%))	39.0	35.8 (118.9 <sup>※2</sup> )	△3.2

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2019年4月8日の自己株式の取得（約1,000億円）を含めた総還元性向

□ 保有契約年換算保険料（個人保険）

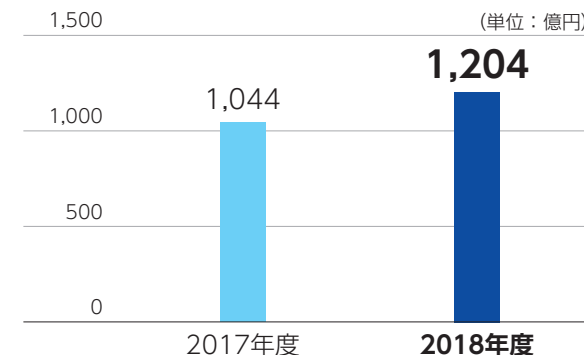


ポイント

個人保険の保有契約年換算保険料は、前年度末比△3.8%の46,771億円となりました。

(注) 受再している簡易生命保険契約（保険）を含みます。

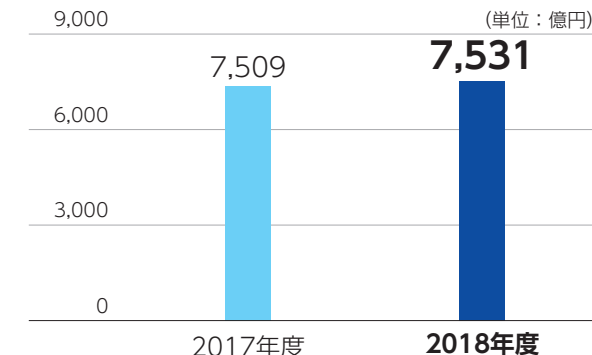
□ 親会社株主に帰属する当期純利益



ポイント

通期業績予想（1,110億円）を上回る1,204億円を計上した結果、前年度比+15.3%の増益を達成しました。

□ 保有契約年換算保険料（第三分野）

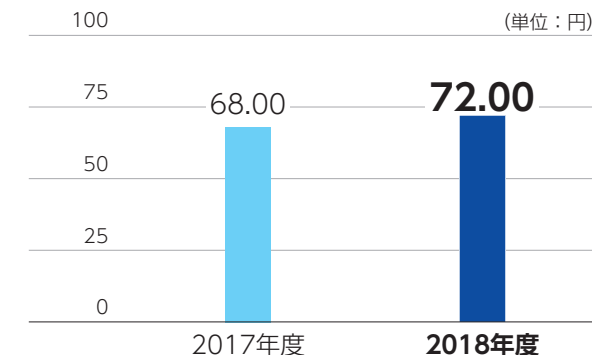


ポイント

保障を重視した営業への取り組みによる新契約の増加に伴い、前年度末比+0.3%の7,531億円となりました。

(注) 「第三分野」は、医療保障給付（入院給付、手術給付等）に該当する部分の年換算保険料を計上しています。また、受再している簡易生命保険契約を含みます。

□ 1株当たり配当



ポイント

1株につき4円増配し、1株当たり72円（普通配当68円・特別配当4円、前年度比+5.9%）となりました。

かんぽ生命の概要 (2019年3月31日現在)

名称	株式会社かんぽ生命保険 JAPAN POST INSURANCE Co., Ltd.
事業開始日	2007年10月1日
本社所在地	〒100-8794 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 TEL 03-3477-0111 (日本郵政グループ代表番号)
資本金	5,000億円
従業員数	7,617名
主な事業所	エリア本部 13、支店 82

取締役 (2019年6月17日現在)

取締役兼代表執行役社長	うえ 植 平 光 彦
取締役兼代表執行役副社長	ほり 堀 金 正 章
取締役	なが 長 門 正 貴
社外取締役	すず 鈴 木 雅 子 さい さい とう 藤 たもつ 保 お 尾 崎 道 明 やま 山 田 め ゆ み (戸籍上の氏名：原 芽由美) こ 小 室 よし 淑 え 恵 (戸籍上の氏名：石川 淑恵) はら 原 だ 田 かず 一 ゆき 之 さ 佐 たけ 竹 あきら 彰

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	毎年3月31日及び中間配当を行うときは毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (電話照会先及び郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【専用フリーダイヤル】 ☎0120-582-842 【ご利用時間】 午前9時～午後5時 (土・日・休日・年末年始を除く。)
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/kokoku/abt_kok_index.html">https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/kokoku/abt_kok_index.html</a>
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所

大株主の状況 (2019年3月31日現在)

株主の氏名又は名称	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本郵政株式会社	534,000	89.00
THE BANK OF NEW YORK - JASDECNON - TREATY ACCOUNT	4,483	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,585	0.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,579	0.60
かんぽ生命保険社員持株会	2,252	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,787	0.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,460	0.24
JP MORGAN CHASE BANK 385151	993	0.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	970	0.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	913	0.15

(注) 1 持株数は、単位未満を切り捨てて表示しております。  
2 持株比率は、小数点第3位以下を四捨五入し小数点第2位まで表示しております。  
3 2018年度末の経過後である2019年4月、日本郵政株式会社による当社普通株式の第2次売出し及び当社による自己株式取得が実施され、持株数及び持株比率に変動が生じています。

株式に関する各種手続きのお申出先

各種お手続き (住所変更、株主配当金受取方法の変更等)	お取引先の証券会社
未払配当金のお受取り	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (上記専用フリーダイヤル)



 **かんぽ生命**  
INSURANCE